

第15期 中間

株主通信

2011年12月1日—2012年5月31日

 **イーサポートリング株式会社**

安心な“食”を見守り続けます



証券コード 2493

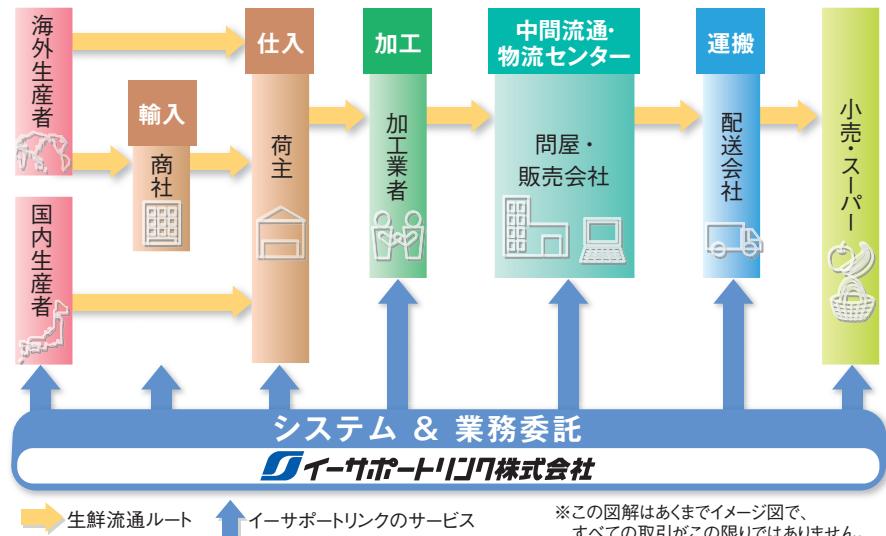
経営理念

全ては生産者と生活者のために！

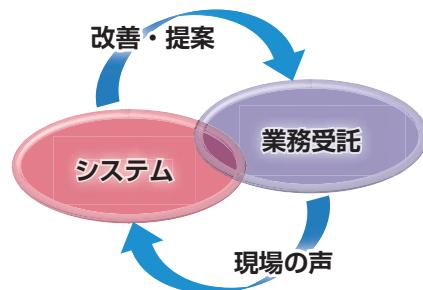
■ 生鮮流通に携わるすべての人々をシステムと業務受託サービスでサポート！

生鮮品が生産者からスーパーに届くまでには、さまざまな取引業者が介在しています。当社は、そのすべての人々にシステムと業務受託サービスを提供することで、流通上の“ムダ”をなくし、コスト削減を実現させました。さらには、全体をトータル管理することで、トレーサビリティ(情報追跡)を確立し、生活者の皆さまに新鮮で安心な商品をお届けすることに貢献しています。

ビジネスモデル



システムと業務受託を併せ持つことは、
他社に類をみない当社の最大の強みです！



システム事業

生鮮流通の全プロセスの情報をシステム管理し、商流・物流・情報流を一元管理しています。

業務受託事業

生鮮流通における全ての業種に対してオペレーション業務を代行しています。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
第15期中間「株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

わが国の経済は、企業収益や設備投資等の緩やかな持ち直しの傾向が見え始めたものの、雇用情勢など引き続き厳しい状況で推移いたしました。生鮮青果物流通業界においては、主要クライアント企業のメイン商材であるバナナの輸入量・価格が概ね前年並みで推移し、小売業の店舗調整後の食料販売額は、昨年の中東大震災の反動があったものの、概ね前年並みで推移しました。

このような状況下、当社グループにおきましては、第15期第2四半期連結累計期間は、売上高は業務受託の処理量の増加等により、前期比微増の21億9百万円となりました。経常利益は、売上原価・販売管理費の圧縮や発生時期のズレにより、前年同期比35%増の2億70百万円、四半期純利益で2億52百万円と当初計画数値を上回る結果となりました。この結果を踏まえ、第15期通期の業績予想につきましては、システム運用管理費用等の増加が見込まれますが、業務受託事業が堅調に推移する見通しであり、上方修正をいたしました。売上高は前回発表予想より11百万円増加の42億28百万円、経常利益は前回発表予想より77百万円増加の4億49百万円、当期純利益で42百万円増加の4億4百万円となる見込みです。

今期は、将来の成長の礎を築く年度と位置付け、主力とするイーサポートリンクシステムの再構築に向けた開発を開始いたしました。大手量販店向けの生鮮MDシステムにおきましては、利用取引先数・データ件数が順調に推移しております。また、業務受託事業は、流通合理化の実現のために、オペレーション効率化、人員配置の適正化、災害対応強化などを進めてきました。引き続き、事業継続計画強化のための諸施策の実施、今後の長期的な成長の原動力となる新規サービスの開発に向けた研究開発活動やプロジェクトを推進してまいります。

ご好評を頂いております株主優待については、引き続き年2回実施いたします。今後も業績進展に向け、皆様のご期待に沿えるよう、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 堀内 信介

株主の皆様へ



10年のあゆみとこれから・・・

2001年に業務受託事業を開始し、早くも10年が経過しました。
これまでの事業展開をシステムの紹介とともに簡単にご説明いたします。

<各システムの詳細は、ホームページをご覧ください。>



イーサポートリンクシステム

イーサポートリンクシステムは、当社の基幹システムです。主要クライアント企業が採用し、サプライチェーン・マネジメントを実現したことで、事業の基盤を確立しました。このシステムは、流通過程の川上から川下までの情報をオンライン上で一元管理できるので、流通全体をコントロールし、業務負担の軽減やコスト削減、さらには食の安全に大きく貢献するトレーサビリティも容易にしています。

生鮮MDシステム

小売・スーパーの仕入担当者の商品調達戦略を支援するシステムです。現在、大手スーパーとその取引先に採用され、農産物/水産物/畜産物を中心に導入が進んでいます。今後は、デイリー（豆腐、納豆など）/デリカ（弁当、惣菜）など、その他食品部門への導入拡大を目指しています。



※生鮮MDシステムは、経済産業省が推奨する流通BMSに準拠して作られています。

イーサポートリンクシステム Ver.2 を構築中

2012

福岡テクニカルセンターを移転

2011

札幌テクニカルセンターに一部業務を移管

2009

生鮮MDシステムをリリース
生鮮まるごとEDIを構築

2007

(株)津軽りんご販売を第三者割当増資により連結子会社化
株式会社農業支援に商号変更
生産履歴システム：農場物語のサービス提供開始



農場物語

農家の皆さんをサポートする生産履歴システムです。農産物の栽培計画段階で使用する農薬のチェックができるシステムで、農薬の誤使用を事前に防止でき、農薬使用リスクを最小限に抑えることができます。

※農場物語は、日本GAP協会の推奨システムです。



株式会社農業支援

りんご事業を中心に事業を展開し、受託販売と仕入販売を行っています。主要取引先である「若木山りんご生産出荷組合」は、安全でおいしいりんごを供給することに積極的に取り組んでいます。株主優待品は、ここのりんごをお贈りしています。



これからも絶えず新しいビジネスモデルを模索し、新しい仕組みとシステムを進化させることで流通の合理化に役立つとともに、生鮮流通の「新しいスタンダード」になることを目指し、邁進していきます。

業務受託事業 (BPO)

お客様になり代わり、受注から手配、入金消しこみまでのオペレーションを行います。単なるコールセンターと違い、生鮮流通を知り尽くしたスタッフにより、リアルタイムな商・物流管理を実現しています。生鮮流通に携わるどの業種の人達にも「BPO」の提供ができます。



大阪証券取引所
ニッポン・ニュー・マーケット
「ヘラクレス」市場に上場
※現：JASDAQ 市場スタンダード

2006

2005

生鮮ファクタリングシステム 特許取得
連続ファクタリングシステム 特許取得

2003

福岡テクニカルセンターを開設
札幌テクニカルセンターを開設

2002

イーサポートリンクシステムをリリース
名古屋テクニカルセンターを開設
神戸テクニカルセンターを開設

2001

業務受託事業 (BPO) を開始

1998
設立



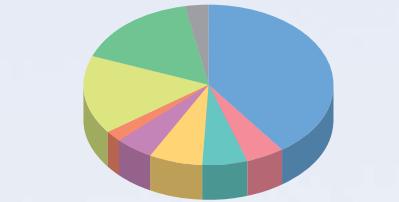
株主さまアンケート結果報告

前回、第14期「株主通信」の送付に際して『株主さまアンケート』を同封し、当社の事業や株式に対する意識調査を実施させていただきました。アンケートには、**2,785名**の皆様からご協力いただき、返信率**60%**という高い関心をお寄せくださいましたこと、心より御礼申し上げます。ここにアンケートの結果、ご意見、ご要望につきましてご報告申し上げます。

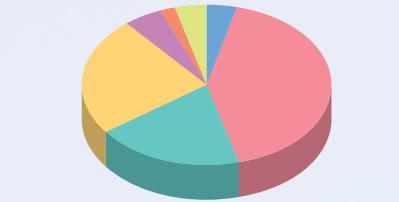
■ 年齢



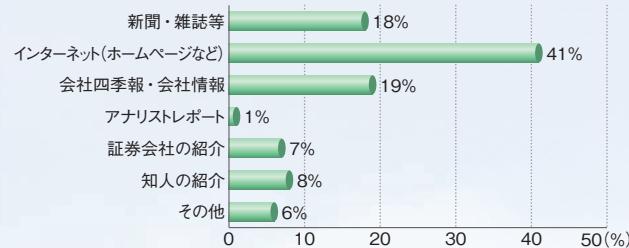
■ 職業



■ 居住地



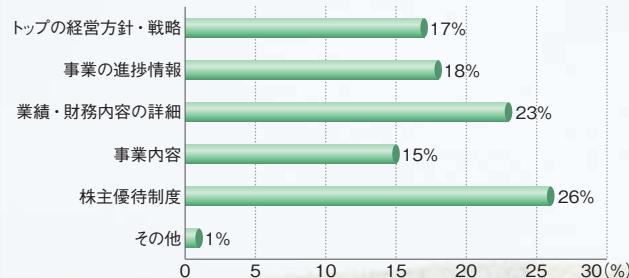
■ 当社をどのようにしてお知りになりましたか？



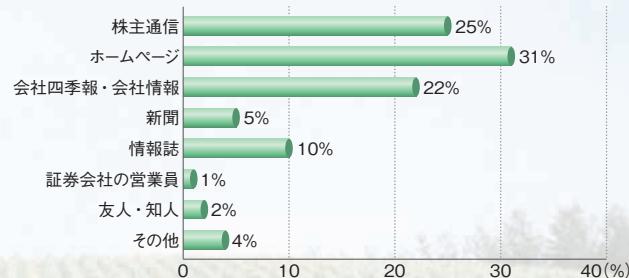
■ あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか？ (複数回答)



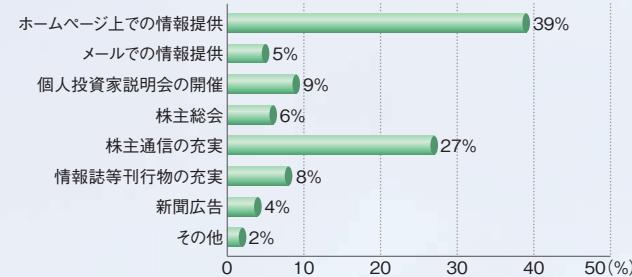
■ 当社について知りたいことは何ですか？ (複数回答)



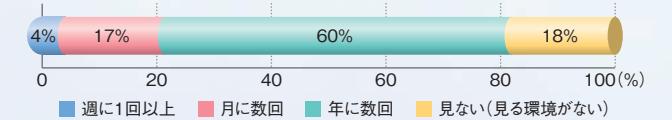
■ 当社に関する情報の入手手段は何ですか？ (複数回答)



■ 当社のIR活動等に充実を求めるものは何ですか？ (複数回答)



■ 当社のホームページをどの程度ご覧になりますか？



■ 株主優待品(りんご生果)はいかがでしたか？



■ フリーコメント

約1,500件のコメントをいただきました。その一部をご紹介します。

- 事業内容と経営の取り組みに興味を持ちました。
- 生鮮流通において、新鮮で安心な商品提供に貢献してほしい。
- 食に携わる人が正しく評価される経営理念を、確実に実現して頂きたい。
- ぶれることなく、独自の基幹事業を貫いてほしい。
- 株価を上げる努力をしてほしい。
- 個人投資家向け説明会を定期的に開催してほしい。
- 優待品は、生産者の声がかかる、とてもよい優待品だと思います。
- 株主優待を楽しみに、株を購入しました。
- 優待品は、りんご、ジュースともに家族に大好評です。
- 優待品の内容は、量、質ともに大満足です。
- 年2回の優待品が違うのは、新鮮で面白いと思います。
- 食のインフラは大切です。応援しています。
- ユニークな業容、期待しています。
- 認知度が高まることを期待します。

当社では、株主の皆様からの貴重なご意見を今後の経営やIR活動に反映させるべく努め、企業価値の向上に取り組んでまいります。『株主さまアンケート』は、期末のみ実施いたします。次回の「株主通信」に同封いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

IR活動報告

■ 2012年1月27日(金)

機関投資家向け「2011年11月期決算説明会」を開催

■ 2012年7月26日(木)

機関投資家向け「2012年11月期第2四半期決算説明会」を開催

■ 2012年6月6日(水)

「合同個人投資家セミナー」に参画

野村インベスター・リレーションズ株式会社主催の「合同個人投資家セミナー」に参画しました。当日は、多くの個人投資家の皆様にご参加いただき、当社を取り巻く環境と事業概要を中心に説明を行いました。

いずれの資料も、ホームページ～「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目 | 第 15 期 (当第2四半期) | 第 14 期 (前第2四半期) | 第 14 期 (前期) |
|----------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| | 2012年5月31日 現在 | 2011年5月31日 現在 | 2011年11月30日 現在 |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 2,644 | 2,022 | 2,536 |
| 固定資産 | 1,209 | 915 | 1,087 |
| 有形固定資産 | 258 | 232 | 250 |
| 無形固定資産 | 578 | 476 | 472 |
| 投資その他の資産 | 372 | 206 | 364 |
| 繰延資産 | 3 | 6 | 4 |
| 資産合計 | 3,857 | 2,944 | 3,629 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 1,001 | 868 | 1,065 |
| 固定負債 | 582 | 508 | 543 |
| 負債合計 | 1,583 | 1,376 | 1,608 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 2,274 | 1,568 | 2,022 |
| 資本金 | 2,721 | 2,721 | 2,721 |
| 資本剰余金 | 620 | 620 | 620 |
| 利益剰余金 | △1,067 | △1,773 | △1,319 |
| その他の包括利益累計額 | △1 | △1 | △2 |
| 純資産合計 | 2,273 | 1,567 | 2,020 |
| 負債純資産合計 | 3,857 | 2,944 | 3,629 |

財政状態に関する分析

資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて2億28百万円増加し、38億57百万円（前連結会計年度末比6.3%増）となりました。内訳としては、流動資産が26億44百万円（同4.3%増）、固定資産が12億9百万円（同11.2%増）、繰延資産が3百万円（同25.1%減）となりました。

流動資産の主な増加要因は、有価証券が1億99百万円増加した一方、現金及び預金が79百万円、未収入金が32百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウェア仮定が1億89百万円増加したことによるものです。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第 15 期 (当第2四半期累計) | 第 14 期 (前第2四半期累計) | 第 14 期 (前期) |
|---------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 自2011年12月1日 至2012年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年11月30日 |
| 売上高 | 2,109 | 2,048 | 4,182 |
| 売上原価 | 1,266 | 1,300 | 2,657 |
| 売上総利益 | 843 | 748 | 1,525 |
| 販売費及び一般管理費 | 564 | 540 | 1,125 |
| 営業利益 | 278 | 207 | 399 |
| 営業外収益 | 4 | 3 | 6 |
| 営業外費用 | 12 | 10 | 20 |
| 経常利益 | 270 | 200 | 385 |
| 特別利益 | 0 | - | 0 |
| 特別損失 | 0 | 17 | 22 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 270 | 182 | 363 |
| 法人税等 | 18 | 7 | △266 |
| 四半期純利益 | 252 | 175 | 629 |

末と比べて25百万円減少し、15億83百万円（同1.6%減）となりました。内訳としては、流動負債が10億1百万円（同6.0%減）、固定負債が5億82百万円（同7.2%増）となりました。

流動負債の主な減少要因は、未払金が41百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて2億53百万円増加し、22億73百万円（同12.5%増）となりました。この結果、自己資本比率は58.9%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を2億52百万円計上したことによるものです。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第 15 期 (当第2四半期累計) | 第 14 期 (前第2四半期累計) | 第 14 期 (前期) |
|------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 自2011年12月1日 至2012年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年11月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 322 | 458 | 684 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △234 | △50 | △142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 32 | △137 | 64 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 120 | 269 | 606 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,932 | 1,325 | 1,325 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,052 | 1,595 | 1,932 |

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第 15 期 (当第2四半期累計) | 第 14 期 (前第2四半期累計) | 第 14 期 (前期) |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 自2011年12月1日 至2012年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年5月31日 | 自2010年12月1日 至2011年11月30日 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 252 | - | 629 |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | - | △0 |
| その他の包括利益合計 | 1 | - | △0 |
| 四半期包括利益 | 253 | - | 628 |
| (内訳) | | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 253 | - | 628 |

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比して1億20百万円増加し、20億52百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億22百万円（前年同期は4億58百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を2億70百万円、減価償却費を1億17百万円計上したこと、その他の流動負債が56百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

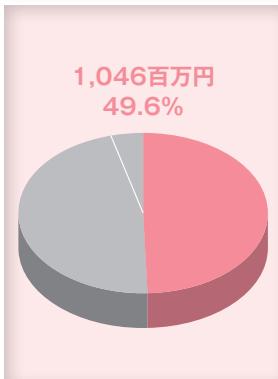
投資活動の結果使用した資金は2億34百万円（前年同期は50百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出2億17百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は32百万円（前年同期は1億37百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の純増額62百万円、社債の償還による支出30百万円等によるものであります。

売上高構成比

システム事業



業況

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

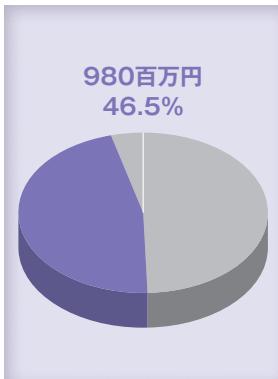
輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続すると共に、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築に向けた開発を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は10億46百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は3億36百万円（同20.3%増）となりました。

売上高推移



業務受託事業

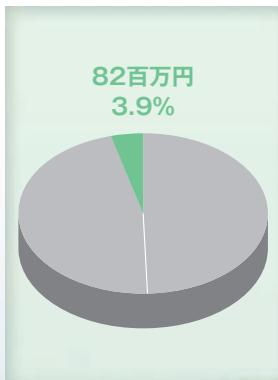


業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は9億80百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は3億55百万円（同11.7%増）となりました。



農産物販売事業



農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は82百万円（前年同期比20.5%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。



(2012年5月31日現在)

会社概要

商号：イーサポートリンク株式会社
 (英文商号 E-SUPPORTLINK, Ltd.)
 本社所在地：東京都豊島区高田二丁目17番22号
 設立：1998年10月6日
 資本金：2,721百万円
 従業員：238名（連結） 230名（個別）

株式の状況

発行可能株式総数：107,000株
 発行済株式総数：44,248株
 株主総数：5,552名

役員

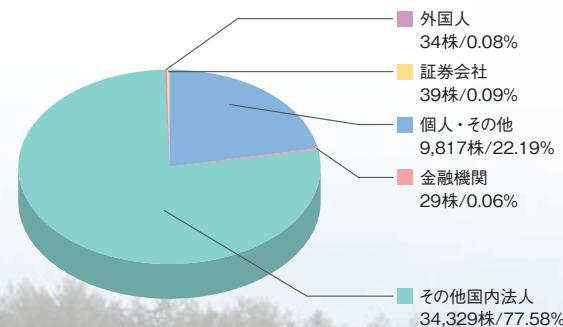
代表取締役社長：堀内 信介
 取締役：松丸 正明
 取締役：仲村 淳
 社外取締役：村井 勝
 社外取締役：下戸 章弘
 常勤監査役：伊藤 日出夫
 監査役：佐藤 智之
 監査役：吉田 茂

大株主一覧表

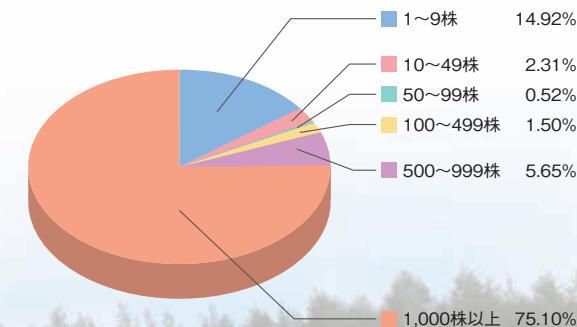
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|--------|---------|
| フレッシュMDホールディングス株式会社 | 18,304 | 41.36 |
| 株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス | 4,333 | 9.79 |
| 全日本ライン株式会社 | 1,956 | 4.42 |
| ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社 | 1,883 | 4.25 |
| 伊藤忠商事株式会社 | 1,814 | 4.09 |
| 株式会社上組 | 1,667 | 3.76 |
| 東洋埠頭株式会社 | 1,111 | 2.51 |
| オリックス株式会社 | 1,111 | 2.51 |
| 株式会社フレッシュプロデュースドットコム | 1,050 | 2.37 |
| ファルコン投資事業組合 | 978 | 2.21 |

株式分布状況

所有者別



所有株式数別



株主メモ

| | |
|---------|---------------------------------|
| 事業年度 | 毎年12月1日～翌年11月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年2月下旬 |
| 基準日 | 11月30日 |
| 単元株式数 | 1株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |

| | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合) |
|-----------------|-----------------|--|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | お取引の証券会社等になります。 | フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00) |
| 各種手続お取扱店(住所変更等) | | みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 ブラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 |

公告方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、ご引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かない場合がございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早めに当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号
TEL : 03-5979-0666 FAX : 03-5979-0667

ホームページのご案内

当社では、「株主通信」ではお伝えしきれない情報をホームページにて開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.e-supportlink.com/>

